

# 病害虫発生予察情報

## 7 月月報

平成 28 年 8 月 17 日  
東京都病害虫防除所

### 1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2016 年 7 月	気 温 (°C)						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	30.8	2.7	21.1	0.9	25.4	1.7	22.0	38	49.9	132
中旬	30.2	0.6	22.7	1.1	25.9	0.8	51.0	111	35.0	88
下旬	28.2	-2.9	21.3	-1.4	24.2	-2.0	48.5	83	41.7	67
平均	29.7	0.1	21.7	0.2	25.1	0.1				
合計							121.5	75	126.6	89

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1981～2010 年の平均値）からの差（比）

#### <天候概況>（千代田区北の丸公園）

- ◎ 気 温：上旬は高く、中旬は平年並、下旬は低かった。
- ◎ 降 水 量：上旬は少なく、中・下旬は平年並だった。
- ◎ 日照時間：上旬は多く、中旬は平年並、下旬は少なかった。

上旬：期間の終わりに低気圧や梅雨前線の影響で雨となったが、その他の日は梅雨前線の活動が弱く曇りや晴れの日が多くなった。

中旬：期間のはじめは日本海に中心を持つ高気圧に覆われて晴れて暑い日もあったが、期間の中頃は上空の寒気や湿った空気の影響により、曇りや雨の日が続いた。特に、14 日は上空の寒気の影響で雨や雷雨となり、所々で大雨となった。また、練馬区では突風による倒木の被害があった。期間の終わりは変わりやすい天気となった。

下旬：期間のはじめから中頃にかけては気圧の谷の影響で曇りや雨となった。期間の終わりは高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。なお、関東甲信地方は 7 月 28 日ごろに梅雨明けしたとみられる（速報値）。

### 2 作物生育概況

#### (1) イネ

生育はおおむね順調であった。

#### (2) 野菜類

果菜類：露地トマト、ナス等の果菜類の生育はおおむね順調であった。エダマメは生育が進み、収穫が早まった。スイートコーンの生育はおおむね順調であった。

葉根菜類：施設・露地のコマツナはおおむね順調な生育であった。ニンジンに適度な降雨もあり、発芽は良好であった。

いも類：サトイモの生育はおおむね順調であった。

### (3) 果樹

農総研の果樹圃場（灰色低地土）におけるナシ主要品種の生育状況は以下のとおり。

幸水：天候の影響で、肥大にムラが出ている。

### (4) 茶樹

7月の生育状況は、ほぼ平年並であった。

## 3 病害虫の発生概況

### (1) イネの病害虫

いもち病（平野部）	< やや少 >	発生はやや少なかった。
いもち病（山間部）	< 並 >	発生は平年並であった。
紋枯病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

### (2) 果樹の病害虫

#### ナシ

黒星病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

#### 果樹共通

チャバネアオカメムシ	< やや少 >	フェロモントラップと予察灯の誘殺数はやや少なかった。
クサギカメムシ	< やや少 >	予察灯の誘殺数はやや少なかった。

### (3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノホソガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナガチャコガネ	< 少 >	発生は少なかった。

### (4) 野菜の病害虫

#### トマト

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
白ぶくれ症	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。

オオタバコガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キュウリ		
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
斑点細菌病	< 少 >	発生は少なかった。
ナス		
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
半身萎凋病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかったが、一部圃場でやや多かった。
コマツナ		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギ		
黒斑病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
(5) 花きの病害虫		
シクラメン		
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
花き共通の病害虫		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
(6) 植木の病害虫		
街路樹など		
チャドクガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
(7) 島しょの病害虫		
新 島：アシタバ、ナスなどの野菜類でアオバハゴロモの発生が多かった。		
三宅島：キュウリでべと病、トマトでサビダニの発生が一部圃場で多かった。		
八丈島：キキョウランでハダニ類、フェニックス・ロベレニーでチャハマキ、レモンでナミアゲハの発生が多かった。		
小笠原：父島で局所的にアフリカマイマイの発生が多かった。		
その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。		

## 4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	7月11日	8月9日	0	0
大田市場	7月11日	8月9日	0	0
板橋市場	7月11日	8月9日	0	0
淀橋市場	7月11日	8月9日	0	0
北足立青果市場	7月11日	8月9日	0	0
青梅青果市場	7月7日	8月8日	0	0
八王子北野市場	7月7日	8月8日	0	0
多摩ニュータウン市場	7月7日	8月8日	0	0
国立市場	7月7日	8月8日	0	0
東久留米市場	7月7日	8月8日	0	0
備考：ウリミバエ・ミカンコミバエ用トラップにおいて、淀橋市場で1頭のミスジミバエ雄が誘殺された。				

病害虫防除所ホームページ

(下記アドレスに移転しました。)

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/anken/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、  
防除のポイントなどをお知らせしています。